

櫻丘広報

SAKURAGAOKA-NEWSLETTER



写真：入学式（上）、3年生校外教育（下）

CONTENTS

入学式	… 1	3年生八景島校外教育	… 3	高大連携教育	… 7
新入生ガイダンス	… 2	English Challenge Program	… 5	櫻丘ニュース・部活動報告	… 9
新任の挨拶	… 2	U.S. Dual Diploma Program	… 6	行事予定	… 11

ENTRANCE CEREMONY

入学式

[日程] 4月7日(水)
[場所] 百周年記念館

4月7日(水)、令和3年度日本大学櫻丘高校入学式が執り行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ご来場いただく保護者の方を各家庭1名までとさせていただき実施いたしました。新入生たちは、皆これから高校生活への期待で胸いっぱいのようです。



GUIDANCE

新入生ガイダンス

[日程] 4月12日(月)・13日(火)

4月12日(月)・13日(火)の2日間、新入生を対象にガイダンスを行いました。ガイダンスでは本校の歴史や教育活動における様々な制度や仕組みを聞き、櫻丘高校の生徒としての自覚をさらに高める機会となりました。また、校内ツアーや文理学部キャンパスツアーも行われ、生徒たちはより具体的にこれからの高校生活をイメージできた様子でした。



教務部主任による成績や進級等に関するガイダンス



メモを取りながら真剣に聞いています



クラスメイトとも打ち解けた様子です



担任の先生による校内ツアー



文理学部のキャンパスを現役大学生が案内

新しい先生のご挨拶

人事

今年度、日本大学高等学校中学校から異動してまいりました鈴木菜月と申します。教科は地歴公民科を、部活動は吹奏楽部とバトンタロー部を担当いたします。

日々過ごす中で、櫻丘高校の先生や職員の方々、生徒の皆さんのあたたかさを感じています。生徒の皆さん一人ひとりの可能性をひろげる手助けができるよう、また私自身もともに成長できるよう、精進いたします。対面でのコミュニケーションが重視される昨今において、心からのコミュニケーションを大切にして、ともに良い時間を過ごしていきましょう。よろしくお願いします。



鈴木 菜月先生 (第2学年/地歴公民科)

今年度から専任教員となりました鈴木春菜です。教科は地歴公民科を、部活動は女子サッカー部を担当しています。

私は静岡県の日本大学三島高等学校を卒業し、文理学部史学科で近世史を研究しました。大学に入学した当初は、教員免許だけ取って企業に就職することを考えていました。しかし、教職の勉強をし教育実習を終えてみると「楽しかった」という気持ちの方が強く、大学4年の時に本格的に教員を志すようになりました。スタートは遅れたものの縁があって本校の非常勤講師となり、5年目の今年、専任となりました。私にとって櫻丘高校はもう第二の母校のような存在です。そんな櫻丘高校で教員として新たなスタートを切ることができることに感謝し、自分らしく頑張っていきたいと思います。



鈴木 春菜先生 (第1学年/地歴公民科)

3年生八景島校外教育

日程・7月9日金
場所・八景島シーパラダイス
対象・第3学年

7月9日(金)、3年生を対象に八景島シーパラダイスにて校外教育が行われました。この学年は昨年度、新型コロナウイルスの影響を受け、修学旅行が中止になりました。その分、生徒たちは楽しんで行事に参加していました。また、9月に実施される基礎学力到達度テストに向けてリフレッシュにもなったようです。

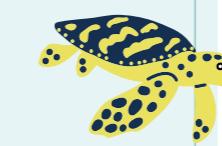


当日は雨が心配されていましたが、時折日が差すなど天候に恵まれました。

動物たちによるショーやアトラクションなどのアクティビティも開催され、生徒たちも非常に楽しそうな様子でした。



水族館内では生後1ヶ月の赤ちゃんイルカを見ることができました。普段の外出が難しい状況下で、無事に行事が行われ、とても充実した1日となりました。



思い出の1ページ

林 優梨子 [4組]

あんなに学校の仲間と楽しく騒いで過ごせたのは一体いつぶりだっただろうか。思い返してみれば2年生の学校行事はすべて中止だった。文化祭も体育大会も、人生最後と思われた修学旅行も。新型コロナウイルスによる影響だともちろん分かっていたが、このまま何の行事もなく高校生活が終わるのだろうかと思うと少し、いや、大分寂しかった。そんな中、高校生活最後の夏にみんなと八景島シーパラダイスに行けたのは非常に嬉しかった。

八景島シーパラダイスに着いてからの班ごとの行動はとても自由で開放的だった。みんなでワイワイしながら、次はああしよう、その次はこうしよう、と言い合うのも普段の学校生活ではできないことだった。もちろん学校でも楽しく話して、笑って、ということはあったが、きっと八景島シーパラダイスが私たちをより仲良くさせてくれたに違いない。同じものを見て感動して、同じ体験をして笑う。そういう出来事が仲間、友達がいることの良さを改めて感じさせた。そして、時間の使い方を工夫できることも校外学習で良かったことのひとつだ。少ない時間の中でどう楽しみ尽くすか考えて行動することができた。時間を考えて行動することは、今回に限らず今後の生活でも大切なことだから、それを意識できたことはとても良かったと思う。

今、私はこの文章を書きながら当日に撮った写真を見返している。1枚1枚写真を見返せば、その時の光景がとても鮮明に頭に浮かんでくる。きっとこの日は高校生活の中で忘れられない思い出のひとつになるだろう。卒業までにあといつの思い出が作れるだろうか。期待を胸に膨らませるばかりだ。

八景島シーパラダイス水族館

大村 竜也 [10組]

7月9日、修学旅行の代わりとして、八景島シーパラダイスへ行った。私は生物を選択しているので、ある程度生物の知識をもった状態で行く水族館は、以前とは大きく違つて見えた。

以前なら、水槽にいる魚などに注目して「すごい」「大きい」「きれい」など、単純な感想しか浮かばなかった。しかし、今回は展示されている魚だけでなく、周りにある植物に注目したり、その生物の特性など、さまざまなことに興味をもち、友達と議論したりしながら水族館を回った。例えば「この魚は淡水魚であるから、大量の低張尿を排出するのだろう」「ペンギンは鳥類であるが、足のヒレが発達しているため泳ぐことができる」など、1つひとつの生き物がとても面白く感じた。

館内をまわっていると、ちょうどイルカショーを見ることができた。さまざまな種類のイルカが飛び回っていたが、イルカの種類によって演技の内容が異なっていた。イルカの身体能力に合わせた演技を行っているようだった。また、水族館内にはさまざまな標本があった。どれも貴重な生物ばかりで、中にはサメの口の標本もあった。ホオジロザメのような代表的なものから、名前を初めて聞いたサメまで展示されており、それぞれの特徴も良く分かった。

生き物の知識をもって行く水族館は、以前とは全く別の視点から見ることができ、面白く、とても勉強になり、より一層生物の勉強をしたいと思える校外教育であった。

ONLINE English Challenge Program

8月2日(月)～5日(木)の4日間、「English Challenge Program」が実施されました。本校は例年、希望者を対象として夏休み中にイギリスで2週間の語学研修を行っておりましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となってしまいました。そこで、今年度はその代替としてEnglish Challenge Programを企画し、語学学習並びに現地の方々との交流の機会を設けました。今年からの取り組みとなった本プログラムには、1・2年生の約30名の生徒が参加し、オンライン上でイギリスの語学学校の先生のレッスンを受けたり、例年お世話になっている現地の学生やホストファミリーとのアクティビティを楽しんだりと4日間を通じて充実した留学体験を楽しみました。

この夏見つけた目標

武内 舞姫 [1年2組]

私は夏休みに、「English Challenge Program」に参加した。私は英語が得意でなかった上に、友達が誰も参加しなかったので初めはあまり乗り気ではなかった。しかし、始まってからは毎日がとても楽しく、あっという間の4日間であった。そしてこの「English Challenge Program」を通して英語を好きになることができただけでなく、自分と違う言語の人と話すときに大切なことを二つ学ぶことができたと思う。

一つ目は、分からぬ英単語があっても一生懸命伝えることが大切であるということだ。私は知っている単語が少なく、ホストファミリーや現地の学生と話すときにうまく伝えられないことが多い。しかし、分からぬからといって諦めてしまうのではなく、知っている単語の中で説明をしてみた。すると、話している皆が自分の言った単語から連想して色々なことばを挙げてくれる。その結果、私は自分が知っている単語以上のことを伝えることができた。そして自分が一生懸命伝えようすれば、相手も一生懸命理解しようしてくれることを学んだ。

二つ目は、分かったときは頷いたり、分からなかったときは首を傾げて聞き返したりする反応が、コミュニケーションをとる上でとても大切であるということだ。これは、英語でのコミュニケーションに限ったことではない。普段の授業の時でも、授業の内容が分かっているのに反応しなければ先生は内容が伝わっているのか不安になるだろうし、分からぬのに放っておくと授業についていけなくなる。これからはどの授業においても先生の話に反応し、分からぬことはしっかり伝え、積極的に取り組んでいきたいと思う。

私は「English Challenge Program」で、少しだが英語や外国の文化などに興味を持つことができた。また、外のことを探るだけでなく、日本のことを色々な人に伝えたいとも思った。なぜなら、日本の紹介をした時にホストファミリーが興味を持ち、たくさんの質問をしてくれたからだ。そこで私は、日本の折り紙を紹介しようと思い、今まで習った知識と、調べて得た言葉で折り鶴の説明書を英語で書いた。そして、TOKYO2020のボランティアに参加していた母に、その説明書と折り紙をセットにして色々な国人に渡してもらことにした。折り鶴の折り方を分かりやすく説明するのはとても難しかったし、自分が知っている単語がいかに少ないかも実感した。しかし、渡した人が喜んでくれたと聞いた時はとても嬉しかった。できれば、私の説明書を見ながら折り鶴が折れたか聞いてみたかったが、それは叶わなかった。無事に折れたことを祈っている。

私はこの「English Challenge Program」の4日間でたくさん成長できた。今年度は語学研修ではなくZoomでしか会えなかったが、次は新型コロナウイルスが落ち着いてイギリスに行けるかもしれない。いつか、現地に行って実際に外国の方々と話ができるよう、これからも英語の勉強をしっかりとていきたい。



U.S. Dual Diploma Program

令和3年度から導入した「U.S. Dual Diploma Program(DDP)」。

今年度は1・2年生の3名の生徒が参加をしています。

このプログラムは、英語で学び考えグローバルに活躍できる力を身につけることを目的としており、本校の通常の授業に加えて、オンラインでアメリカの私立中高一貫校である Providence Country Day School(PCDS)の授業を2年間履修していきます。実際に受講するのは以下の9教科。



Providence Country Day School (PCDS)

DDPにおける卒業資格を得る要件

① EPAアカデミックイングリッシュ (0.5単位)	④ 海洋学 (0.5単位)	⑦ 微積分学 (1単位)
② 美術鑑賞教育 (0.5単位)	⑤ メディアとコミュニケーション (0.5単位)	⑧ 英文学と英語表現 (1単位)
③ 再生可能エネルギー (0.5単位)	⑥ 音楽鑑賞教育 (0.5単位)	⑨ 世界史 (1単位)

現在は3名とも「EPAアカデミックイングリッシュ」と「美術鑑賞教育」を履修しています。

通常の授業や学校行事との両立は大変ではありますが、皆やりがいをもって本プログラムに臨んでいるようです。ここで、参加生徒の声をご紹介します。

間違っても大丈夫という姿勢

K.S君 [2年]

DDPに参加してみてとても実感するのは、自分の英語力が飛躍的に向上したことです。DDPに参加する前の私の英語力は英検準2級レベルでした。そのためDDPは準備コースからの開始となりました。しかし、そこでのオンラインレッスンは、少人数制で発言する機会がとても多く、英語の総合力がとても伸びたように思います。実際、本コースの入学レベルである英検2級にも特別な対策なしで合格することができました。

また、DDPの授業内では、どんなに初歩的なミスをしても決して否定されることなく、発言したことをしっかりとほめてくれます。そのため、間違っても大丈夫という姿勢で臨むことができ、もっとたくさん英語を話したいと思えるようになりました!

Check!

Global Academic Center (GAC)

「U.S. デュアル・ディプロマ・プログラム」は、本プログラム導入と同時に開設された Global Academic Center(GAC)の先生方を中心に運営しています。DDPに関する相談はもちろん、他のグローバルプログラムに関する対応やネイティブの先生方との架け橋になってくれる先生方です。本校のグローバル教育についてなにか気になることがあれば、気軽に声をかけてください。

写真:(後列)久永先生、田辺先生、市橋先生、加藤(謙)先生(前列)土屋先生、澤田先生、徳永先生



今後も参加生徒たちの頑張る様子を隨時お知らせしていきます!

なお、現在の1年生は来年度から本プログラムを新たに履修することが可能です。興味のある生徒はぜひ、Global Academic Centerの先生に声をかけてください。

高大連携教育

Scientific Literacy (サイエンスリテラシー)

7月29日(木)・30日(金)の2日間、高大連携企画の「理工系出張講義」を行いました。これは今年度から新たに行われた取り組みで、日本大学理工学部物理学科から5名、文理学部化学科から3名、地球科学科から1名、生物資源科学部応用生物科学科・動物資源科学科・食品生命学科からそれぞれ1名の先生方にご来校いただき、実験や講義を75分間行っていただきました。普段のいわゆるオープンキャンパス等では体験できない、より深い研究内容について、高校生でもわかりやすくかみ碎いたお話をいただきました。生徒自身の理科への興味関心を深め、進路観の育成に貢献することができました。高校生にとっては難しい学問ばかりでしたが、頑張って勉強している高校の内容が応用されたお話もあり、「今後の勉強のモチベーションとなった」と感想を話してくれる生徒もいました。



出張講義

10月2日(土)、キャリア教育の一環として1・2年生を対象とした出張講義が開催されました。本校として初めての企画で、大学から講師の先生方をお招きし(一部ZOOMを使用)、各教室に分かれて70分の講義を行っていただきました。生徒たちは23の学問系統の中から興味関心に合わせて2種類の講義を選択。各大学や学部の沿革、キャンパスについての説明を始めとして、それぞれの学問系統で大学生が学んでいる内容を高校生向けに噛み碎いたものを、資料等を提示しながら詳しく説明して頂きました。また、講義の最後に各講師の先生方から「高校生のうちに取り組んでおくべきこと」というテーマでアドバイスを頂きました。新型コロナウィルス感染拡大に伴い、オープンキャンパス等による学部訪問が難しい状況が続いているため、自らの志望系統や志望校を選択するための貴重な機会となり、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

開講された学問系統

- 【人文科学系】** 史学／言語学／教育学／美術・デザイン
- 【社会科学系】** 法律・政治学／経済学／経営学／国際関係学
観光学／社会福祉学
- 【理・工・農学系】** 数学／化学／情報工学／建築・土木生物学・農学
獣医学／医学・歯学
- 【医・薬・葉・家政系】** 看護／医療技術学／薬学／食物・栄養学
幼児教育・児童学／スポーツ・健康科学



生徒たちの声

1年生

- 様々な価値観に触ることができ、良い経験となった。
- 文理選択が迫っている中でこのような体験ができたことは良い経験になった。
- 大学について考える意識が強くなった。1つの分野を専門的に学ぶということに好感がもてた。
- オープンキャンパスが中止になる中、実際に教授の講義や、大学の内容を聞ける機会となり大変参考になった。

2年生

- 今回の講義を受け、自分の知りたいことを自分で調べ、突きつめるという大学の学問のあり方を学び、大学進学がより一層楽しみになった。
- このような機会が定期的にあると、自分の将来を考えることの手助けになると思った。次回があれば、他の講義も是非受講したいと思う。
- 大学生の疑似体験ができ、今後へのモチベーションに繋がった。

日本大学の付属校である利点を活用しこれからも大学と連携をとりながらさまざまなイベントを企画していきます。生徒の皆さんも積極的に参加し、自分の可能性を広げていきましょう!

櫻丘ニュース

News 4月 部活動紹介

4月8日(木)の始業式後に、第1学年を対象として部活動紹介を行いました。例年は体育館で行っておりましたが、ZOOMを活用してそれぞれの部活動の代表者が各部活動の紹介を行いました。新入生は先輩たちの説明に耳を傾け、興味深く聞いている様子でした。



News 4月・6月 ネットリテラシー講座の実施

1年生は4月9日(金)、2年生は6月26日(土)に、ネットリテラシー講座が行われました。講師の方から、高校生にとって身近な存在であるSNSの危険性や正しい利用について、身近でおきた事件や事例などをもとにお話をいただき、生徒たちは自分の身に置き換えて真剣な様子で話を聞いていました。ネットが必要不可欠になっている昨今、正しく活用する知識を身に付け、普段の生活に役立て欲しいと思います。



News 5月 卒業生による進路講話

5月29日(土)、3年生を対象とした卒業生による進路講話を実施しました。生徒たちは感染対策のためZOOMを通して各教室で講話を聞きました。講話では主に入試に向けた勉強法や日々の過ごし方、モチベーションを維持し高める方法など、入試を経験した卒業生ならではのお話を聞くことができました。特に、「大学の学部や学科の志望理由は明確に決めるべきである」という話は、新型コロナウイルス感染症の影響で、大学の講義がオンライン等になり従来の生活を送れない大学生の本音も重なり、生徒たちがより真剣に自身の進路を考えるきっかけとなりました。



News 7月 第2学年特別進学Sクラス特別講習会

第2学年特別進学Sクラス特別講習会(合宿)が、7月22日(木)～25日(日)にかけて実施されました。コロナ禍での実施となつたため、希望者を対象として万全な感染防止対策の下で行いました。講習では、早期からの基礎学力と応用力の定着を目的として、国語・数学・英語を中心に行いました。参加した生徒たちは、友人と共に勉学に励み、充実した合宿となった様子でした。



News 8月 教職員対象の救命講習会を実施

8月31日(火)、本校体育館にて東京消防庁世田谷消防署・東京防災救急協会の方々に御協力いただき、本校教職員を対象とする普通救命講習を行いました。講習では、コロナ禍における救急蘇生法について、基本的な考え方と具体的な手順を学んだあと、訓練人形により心肺蘇生とAEDの使用方法について練習しました。万が一の事態に備え、今後も本校では定期的に普通救命講習を受講していく予定です。



News 9月 分散授業・Zoom授業開始

新型コロナウイルス感染者急増を受け、9月からは生徒が【対面授業】か【Zoomでのオンライン授業】かを選択できるハイブリッド方式で授業を行いました。これまでのオンライン授業の経験や生徒たちの積極的な姿勢もあり、新たな方式でありながらもスムーズに授業に入ることができました。先生方は登校している生徒とZoomで受けている生徒に順番に質問をしたり、学習アプリ「ロイロノート」を使って全体に意見を求めたりと、様々な工夫をしながら双方向の授業が行われていました。



News 9月 3年生基礎学力到達度テスト

9月22日(水)、3年生を対象に日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テストが実施されました。今回は、3年生にとって最後の基礎学力到達度テストで、日本大学への進学に関わる大切なものです。生徒たちはこれまでの学習成果を最大限発揮し、真剣にテストに臨んでいました。

3年生の進学状況は、次回の櫻丘広報211号でお知らせする予定です。

Club activity report

部活動報告

チアリーディング部 ▶ USA Japan チアリーディング&ダンス学生新人大会 2021 EAST (8/14 千葉ポートアリーナ)

高校編成Show Cheerleading部門Novice

【1位】2年生チーム／【3位】1年生チーム

水泳部 ▶ 令和3年度 東京都高等学校選手権水泳競技大会 男子100m平泳ぎ

【8位】中園拓斗[3年] (関東大会出場)

演劇部 ▶ 第45回 日本大学付属高等学校演劇研究発表会 (8/20~22 日本大学芸術学部中ホール)

【団体賞】藤崎周平賞

【個人賞】優秀演技賞 唐崎桜[2年]

EVENTS

今後の行事予定

2021

12

December

- 1日(水) 【3年生】受験対策講座(前期、18日まで)
- 2日(木) 短縮授業
- 3日(金) 【1・2年生】第4回定期考査(7日まで)
- 8日(水) LHR
- 9日(木) 【1年生】体育大会、【2年生】家庭学習日
- 10日(金) 【2年生】体育大会、【1年生】家庭学習日
- 11日(土) 答案返却日
- 13日(月) スタディサプリ到達度テスト
- 14日(火) LHR
- 15日(水) 家庭学習日
- 16日(木) 【1・2年生】面談日(18日まで)
- 20日(月) 終業式
- 21日(火) Sクラス冬期特別講習(25日まで)



2022

1

January

- 8日(土) 始業式
- 【1・2年生】小論文テスト
- 11日(火) 【3年生】受験対策講座(後期、29日まで)
- 15日(土) 大学入学共通テスト(16日まで)
4限生徒会行事(全校清掃)
- 17日(月) 【3年生】大学入学共通テスト自己採点
- 21日(金) LHR
【1・2年全員、3年希望者】英検
- 22日(土) 本校推薦入試(家庭学習日)

2

February

- 1日(火) 【1・2年】進研模試
- 9日(水) 短縮授業
- 10日(木) 本校一般入試 [A日程](家庭学習日)
- 12日(土) 本校一般入試 [B日程](家庭学習日)

3

March

- 2日(水) 卒業式
- 3日(木) 家庭学習日
- 4日(金) 学年末考査(8日(火)まで)
- 9日(水) 家庭学習日(10日(木)まで)
- 11日(金) 答案返却日
- 12日(土) 家庭学習日(16日(水)まで)
- 17日(木) 【1・2年生】LHR
- 18日(金) 【1・2年生】スタディー・サポート
- 19日(土) 修了式



各種行事は変更になる場合もございます。